

「ふれあいの里山」復活大作戦



10月5日に予定されていた金ヶ崎公園の里山整備活動は、雨天のため中止となりました。初秋の金ヶ崎公園で、心地よい汗をかこうと思っていたのですが、残念ながら天気には勝てませんでした。来月の活動は、天気に恵まれないものです。

- 次回：11月2日(土) 9:00～15:00 定例活動。
午前中は、ライオン(株)明石工場の皆様が活動に参加される予定です。

定例活動は中止になりましたが、代わりに10月10日に金ヶ崎公園の自然観察をしましたので、その結果をまとめてみます。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今年はいつまでも残暑が続いています。10月も10日になったというのに、金ヶ崎公園にはまだツクツクホウシの声が響いていました。それでも、秋の便りも色々と感じることができました。

野鳥では、モズが姿を見せて時々「高鳴き」をしていました。公園入り口の北浦池では、カワセミが2羽並んで岸辺の枝に止まっていました。親子ではないかと思えます。アオサギやカイツブリ、ホオジロも観察できました。

公園入り口の桜の木に止まるモズ



アオサギ



親子と思われる2羽のカワセミ



カイツブリ



ホオジロ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

昆虫では、チョウの仲間が色々と姿を見せてくれました。公園の一番奥には、アサギマダラが3羽ほどセイタカアワダチソウの花の周りに飛び回っていて、オスとメスの翅の違いや翅を広げたり閉じたりする様子をじっくりと観察することができました。ルリタテハやアカタテハ、ホシミスジ、ペニシジミ、ヤマトシジミ、ウラギンシジミ、ヒカゲチョウなども観察できました。夏が過ぎたためか、翅の傷んだチョウが目立ちました。そのほかの昆虫では、スズメバチもアベマキの幹の樹液を吸いに来ていました。またトンボの仲間やオオカマキリも観察できました。

翅を閉じたアサギマダラ(オス)



羽を閉じたアサギマダラ(メス)



羽を広げたアサギマダラ(オス)



羽を広げたアサギマダラ(メス)



ルリタテハ(翅が傷んでいます)



アカタテハ



ひどく翅の傷んだホシミスジ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

ベニシジミ

ウラギンシジミの翅の裏(左)と表(右) 翅の表の色からオスとわかります



ヤマトシジミ

ヒカゲチョウ

トンボの仲間(リスアカネ?)



オオカマキリ

アベマキの樹液を吸うスズメバチ



植物では、あちこちに秋を感じさせる花や木の実などが見つかりました。ススキの穂が揺れ、また金ヶ崎公園のアベマキは今年は豊作のようで、たくさんドングリが落ちていました。

公園入り口のススキ

たくさん落ちていたアベマキのドングリ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その4)

その他にも、ヒガンバナやハギ、ナンバンギセル、クサギの花が咲き残っていました。また、アケビやコブシ、ガマズミの実も観察できました。また、

ヒガンバナ



ハギの花



ナンバンギセル



クサギの花



アケビの実



コブシの実



ガマズミの実



狂い咲きのヤマツツジ

